



Title	利用学生の声 サイバーメディアフォーラム no.16 情報教育システム
Author(s)	
Citation	サイバーメディア・フォーラム. 2015, 16, p. 34-35
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/70393
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

利用学生の声

学生が使える大規模な計算機があることはとても素晴らしいことだと思います。勉強への意欲も高まります。しかし、その使い方があまりわからないというのが正直なところです。情報活用基礎の授業ではパソコンに詳しい人にしか焦点を当てずに授業を進められ、得意でない人はおいて行かれるばかりです。第1セメスターの情報の講義の中でもっと詳しく解説してほしいです。

使いやすくて良かったと思う。ただし、1度情報活用基礎の授業時に CLE が使えなくなってしまったことがあって困った。また、授業の始まりのときは授業を受ける全員がパソコンを立ち上げるため、起動するのに時間がかかってしまった。さらに、office をダウンロードするときも調子が悪く何度も失敗してしまった。これらの点では少し戸惑つてしまましたが、他の点ではスムーズに活動が行なえた。

数学の授業対策として「mathematica で学ぶ大学数学」を利用しました。数学に苦手意識があったためとても助かりました。私はこのサービスを全学共通教育棟の教務部にあったチラシで知りましたが、便利なサービスなのでもっと早くに知りたかったと思いました。

私は主に授業でサイバーメディアセンターを利用しました。私は高校まではパソコンを利用する機会が少なかったのでエクセルやワードの使い方には苦労しました。情報活用基礎の授業では最後のレポートでうまくいかず、完成させることができませんでした。しかし、パソコンの様々な使い方を学ぶことができたのでこれから的生活や社会生活に役に立つのではないかと思います。教室が開いている時間に学生が自由に使えるようになっていることはありがたいことであると思いました。印刷も可能で便利であると感じました。休日は使えなかったので、個人的には土曜日は閉めずにせめて午前中だけでも使えたらよいと思います。

施設としては、歩きやすく、教室の場所もわかりやすく、使いやすいと思います。また、教室内のコンピューターで Maple などの計算ソフトを使えるなど、サービスに関しても満足しています。ただ、教室の中のコンピューターを使用する際にその電源が入っていないとき、電源ボタンに「電源断禁止」と書かれたシールが貼ってあるのを見て、「電源ボタンはこれみたいだけど、触っていいのかな・・・」と、戸惑ってしまいました。「電源を入れるのはいいが切るのはダメ」ということなら、もう少しはっきり伝えていただけだと戸惑いも減ると思います。

4階あたりから CALL という、情報の時間で使うコンピュータとは違うコンピュータであるということを知らない、最初は戸惑った。情報活用基礎は学部によって教える内容や難易度が異なっており、将来使うであろう範囲に合わせてよかったです。文系でも初級はあるがプログラミングを扱っていてとてもありがとうございました。

自分は高校の時は、情報の授業があまりなかったので、Word、Excel などのよく使われるツールの基礎知識が足りなかつたため、情報活用基礎は自分にとって大変有意義なものであり、今までなかつた知識が得ることが出来て、とても良かったと思いました。先生の分かりやすく、熱心な指導もあって、今ではそれらのものに対して苦手意識はあまりなく、むしろ積極的に使おうとも思うようになりました。先生によって、授業

の内容が変わっていたので、そこはしっかりと統一してほしいと思いました。そして、個人的にサイバーメディアセンターの使用時間をもう少し長くしてもいいのではないかとも思いました。

情報活用基礎については、授業内容と課題の難易度に開きがありすぎるようにも感じた。

パソコンの台数はとても潤沢で、困ることはあまりありませんでした。ただ、インストールされているソフトが大変限られていてリスニングの CD を取り込みたいといった場合にはドライブはあるのに該当するソフトはなく、またプレゼンですこし画像を編集したいとおもってもそういったソフトはなくすこし不自由でした。また、仮想 OS についても制限が多く、せめて Ubuntu や Knoppix といった OS も搭載してほしいです

学生生活の中でサイバーメディアセンターの情報教育用計算機システムを活用した場面が何度かあって、非常に便利なものであると思う。情報活用基礎において、サイバーメディアセンターの情報教育用計算機システムの使い方を知ることができたのもよかったですし、また Maple などの数式処理ソフトウェアも便利なものである。学内でプレゼンを作ったり、レポートを作るためにサイバーメディアセンターのパソコンを使用したこともあるし、call 教室などで自分の作成した文章を印刷したことも何度かある。このように、サイバーメディアセンターの情報教育用計算機システムは学生生活を助けてくれるものであると思う。

情報の講義を受けさせてほしい。（工学部環エネです）

情報活用基礎では、ワードやエクセル、パワーポイントの使い方を学習しました。高校で習ったものもありましたが、より理解を深められたと思います。パソコンのディスプレイの横には説明用のモニターもあり、今どこを説明しているのか、パソコンのどの部分を使えばよいのかがよく分かりました。
